

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 6年 5月15日

学校名 清水西小学校

校長氏名 河村 英則

1 今年度の目標(学校の約束)

- ① 学校で節電・節水に努めます。
- ② 清水西地区の環境、地球環境について学習します。
- ③ 家庭・地域と連携し、清掃活動やリサイクルに努めます。

2 取組内容

① 節電・節水の取組

- ・ 環境委員が放送での節水・節電に対する呼びかけや環境パトロールを行い、全校に資源を大切にしようと呼びかけます。

② 環境学習

- ・ 委員会活動で、地域の人と連携して、花壇を植えます。
- ・ 5年生が環境の学習に取り組みます。

昔ながらの方法での米作り体験を通して地域の環境に目を向けていきます。体験を通して学んだ清水西地区のよさについて、農業体験感謝祭や総合的な学習の発表で地域の人に発信します。

③ 清掃活動・リサイクル

- ・ 家庭・地域と連携してアルミ缶回収を毎月2回行います。また、資源回収を6月に行います。
- ・ 夏休みに奉仕作業を行い、学校環境清掃活動に取り組みます。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

②の環境学習の発表では、自分の気持ちや考えを伝えるとともに、友達の考えを尊重しながら積極的にコミュニケーションをとる力を身につけます。また、地域に対し積極的に発信することで、ものごとに主体的に参加しようとする態度を育てます。

福井市学校版環境ISO 実施報告書

学校名

清水西小学校



1 今年度の目標（学校の約束）

- ① 学校で節電・節水に努めます。
- ② 清水西地区の環境、地球環境について学習します。
- ③ 家庭・地域と連携し、清掃活動やリサイクルに努めます。

2 取組内容

④ 節電・節水の取組

- ・ 教員や環境委員会が全校児童に対し、掲示物などで、節水・節電の意識を高めることができるように呼びかけを行った。今年度も、学年ごとの手洗い場を確保するために特別教室の手洗い場を常時使用しているが、特別教室の電灯スイッチや手洗い場に貼られた節水・節電の掲示物によって、水道や電気を大切に使う態度が見られた。
- ・ 近年、トイレを使用していない時にも電気がつけばなしになっていることがあったが、呼びかけにより、かなり改善された。



⑤ 環境学習

- ・ 5年生は、総合的な学習の時間で、田植えや稲刈りなど昔の方法での米作りを体験しながら、地域の特徴に目を向け、環境学習に取り組んだ。体験を通して学んだことをもとに清水西地区の自然の豊かさや恵みについて考えていた。



⑥ 清掃活動・リサイクル

- ・ PTA や地域と連携してアルミ缶回収を行った。体育館横に回収ボックスを設置したことで、常時アルミ缶を入れることができるようになった。回収ボックスは公民館にも設置し、広く地域から回収することができた。
- ・ 8月下旬 PTA の協力のもと、奉仕作業で学校環境清掃活動を実施した。

★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

②の環境学習の発表では、調べたことや自分の思いを伝えるとともに、友達の考えを尊重しながら積極的にコミュニケーションを図る力を身に付けた。また、伝える相手を意識して、自分の思いや感謝の気持ちを積極的に発信することで、ものごとに主体的に関わろうとする態度を育てた。

3
處
し

【具体的効果】

- ・ 本校の5年生は、総合的な学習の時間に、米作りについて外部講師の方をお招きしていろいろなことを教わりながら学習した。田植えや稲刈り、収穫した米で餅つき体験の活動も行い、農作業の大変さだけでなく作業が終わった時の喜びや収穫の喜びを心から味わうことができた。自然の恵みや環境に感謝すると同時に、自然を大切にしようとする意識や地域を愛する心が育まれた。
- ・ 他学年でも栽培活動や動植物の観察など、生活科や理科、家庭科の学習だけでなく、委員会活動では、児童自らが省エネについて考え、意識して行動がとれるようになった。

【改善点】

- ・ 昔ながらの方法で、田植えや稲刈りなどの米作り体験をしたことを通して、農作業の経験以外にも水田に住む虫や植物に目を向けながら、体験活動を行うことができ、水田の環境についても理解を深めることができた。次年度も米作りが地域の環境保全や伝統文化を支えていることにも関連付けて取組を行っていきたい。
- ・ 使用していない部屋の電気を消すことなどを呼びかけることにより、以前より状況は改善されてきている。しかし、冬季はインフルエンザなどの感染症予防対策のために、節電を呼びかけながらも換気を行っていたために、節電の効果が見えにくいのが現状である。また、委員会活動を中心に実践を行っているが、マンネリ気味になってきているのも事実である。今後は、省エネに関する取組が少しでも充実するように取組内容を考えていきたい。